

## 衛星データ利用者名

農事組合法人二島西、山口県農林水産部

## サービス提供者名

株式会社アグリライト研究所、

一般財団法人リモート・センシング技術センター、山口県農林総合技術センター、  
 国立大学法人山口大学、地方独立行政法人山口県産業技術センター

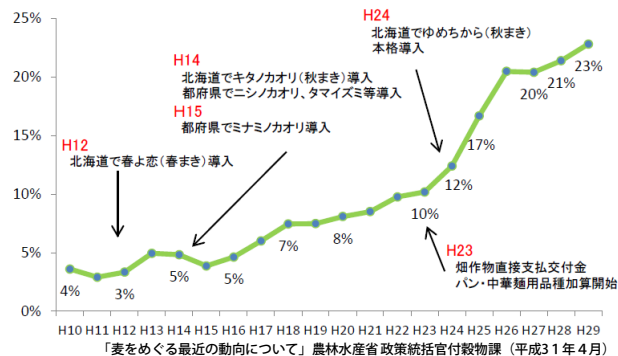
## プロジェクト概要

新品種の開発により生産量が伸びている国産パン小麦について、過去の衛星データとIoT農業機械のデータから、短期間で生育・適正施肥量診断モデルを構築する。生産者、農協、自治体などの指導組織への情報提供を行い、国産パン小麦の収量向上と高品質化を図ることで、生産法人の高収益化や産地拡大、製粉業者や製パン業者などの国産パン小麦利用のリスク軽減により、国産小麦の自給率向上に寄与する技術の開発を行う。

## プロジェクト詳細

### 変化する小麦の国内生産

- ・自給率：14%（平成29年）で低迷
- ・新しいパン小麦品種の開発で作付け面積比率5倍



### 山口県での二毛作の例

作物	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水稻							田植え	出穂	収穫			
小麦			開花				収穫					播種

- ・年間通じた土地利用が可能
- ・国内生産者の経営安定に寄与



- ・国内産小麦の消費拡大
- ・国産小麦使用のパンはブランド商品
- ・山口県の学校給食用パンは県内産小麦100%

### パン小麦特有の問題

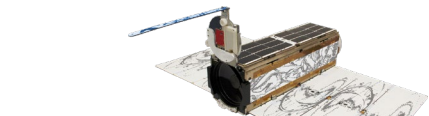
- ・高タンパク含量の要求：11.5%～14.0%（Aランク）
- ・従来の麦とは異なる管理：収穫量に合う「実肥」必要
- ・収量増加で通常量の実肥では子実タンパクの原料となる窒素が不足→適正量の実肥が必要

### 実証の目的

- ・高収量、高タンパク含量の安定生産に必要な情報提供  
生育予測情報、適正施肥量情報
- ・過去の取得データを利用し情報提供体制を短期間で確立



収量コンバイン  
 収穫量、タンパク質含量



高頻度観測光学衛星  
 植生指数 (NDVI、GNDVIなど)



気象データ  
 栽培記録  
 生育調査記録

・生育予測  
 ・適正施肥量モデル

過去データによる短期モデル構築

人工衛星データから追肥・実肥施肥前の生育診断・予測  
 適正施肥量情報を生産者・普及指導組織へ提供  
 国産パン小麦の高収量・高品質生産を支援